



埼玉県立学校

Ver.1.0 (R7.4月版)

# 生徒向け 生成A I利活用の手引き

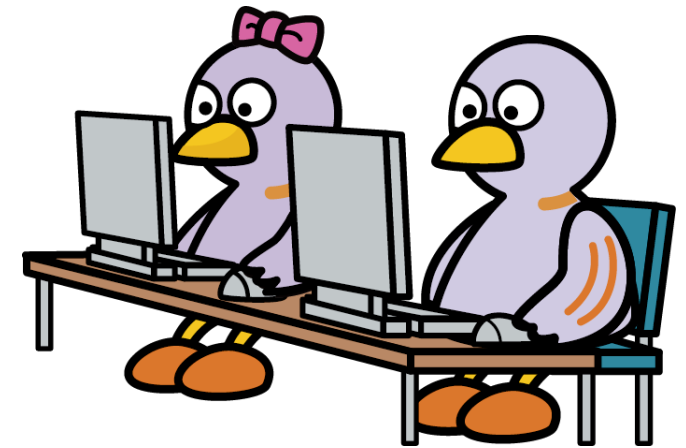


コバトン

※保護者の方もご一読いただき、学校での利活用についてご理解ください。

# 目次

- 1.生成AIとは
- 2.生成AIを使う時の心がまえ
- 3.利活用チェックリスト
- 4.参考資料



コバトン

引用資料

初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン(文部科学省)

# 1. 生成AIとは

生成AI（生成人工知能）は、コンピュータが文章や画像などを自動で作り出す技術で、質問に答えたり、文章を整理したり、アイデアを出したりと、学習や創作を助けてくれる便利なツールです。

人間の脳の働きをまねた「ニューラルネットワーク」という技術を使い、大量のデータを学習し、自然な文章や画像を作り出すことができます。今では、検索エンジンや学習ソフトなど、身近な場面に広く活用されています。

ただし、AIが生成する情報には間違いやおかしな内容が含まれることや、著作権、プライバシーにも注意が必要です。生成AIはあくまで便利な道具であることをよく理解し、適切な利活用を心がけることが大切です。

## 2. 生成AIを使う時の心がまえ

- ① 他人を傷つけるような内容を生成・拡散しない。
- ② 自分や他人の名前、住所、連絡先などの個人情報を入力しない。
- ③ 他人の著作物（イラスト・画像など）を無断で使用しない。
- ④ 生成された成果物をうのみにせず、正しいかどうかよく確認する。  
(ファクトチェック)
- ⑤ 生成された成果物は、自分で判断し、作成したものに責任をもつ。
- ⑥ 学校や先生、年齢に応じたルールを守る。

# 3. 利活用チェックリスト

生成AIを利用する時に、必ず全項目をチェックしましょう！

- 保護者や学校が許可した生成AIを利用していますか
- 氏名や写真などの個人情報を入力していませんか
- 悪意のある不適切なことばを入力していませんか
- 生成物※の真偽を確かめていますか（ファクトチェック）
- 自分の判断や考えが大切であることを意識していますか
- 他人の著作物を無断で使用していませんか
- 生成物※をそのまま自分の成果物としていませんか
- 学校のルールを守って活用していますか

※生成物・・・生成AIが出力したもの



## 4. 参考資料

### ○生成AIはじめの一步～生成AIの入門的な使い方と注意点～（総務省）

今後の生活の中で生成AIに触れうる方（初心者）向けに、

- ① 生成AIの基礎知識
- ② 生成AIの活用場面や入門的な使い方
- ③ 生成AI活用時の注意点 を紹介する教材を掲載。

### ○初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン

文部科学省が令和6年12月26日に公表した、学校現場における生成AIの適切な利活用を実現するための参考資料となるよう、利活用に当たっての基本的な考え方や押さえるべきポイントをまとめたガイドライン。

# 4. 参考資料

## ○情報モラル学習サイト（文部科学省）

児童生徒、教員、保護者を対象とした情報モラルに関するコンテンツをまとめたサイトで、動画コンテンツ・啓発資料、授業実践・事例コンテンツなどを掲載。また、動画コンテンツをもとにしたクイズ形式の問題も掲載されている。

## ○学校における教育活動と著作権（文化庁著作権課、2023年4月改訂版）

学校の授業における複製又はインターネット送信に関することをはじめ、試験問題としての複製・レポート作成などでの「引用」、文化祭・部活動などでの上演等といった、学校現場で直面する著作物の利用について解説。